



あゆみ

〈教育目標〉
やさしく
かしく
たくましく

ハタ(周囲の人)をラク(楽)にする『働く』

今月の23日は『勤労感謝の日』です。勤労感謝の日は、勤労を尊び、お米などの生産を祝い、国民が互いに感謝し合うという趣旨で昭和23年に制定されました。私たちが安心して、不自由なく生活できるのは、社会全体で多くの人が働いて、生活に必要な物を生産し、それを販売したり加工したりしているからです。小学生には労働の尊さや、感謝などを肌で感じることは少し難しいかもしれませんが、この機会に家庭での仕事の分担について考えてみませんか。



家庭の中には『家事の分担』という立派な仕事があります。買い物、風呂掃除、洗濯など小学生でもできる仕事があります。それぞれの家庭で様々な状況があると思いますが、できる仕事を与え、「ありがとう、助かったよ」という言葉をかけることで、自然と勤労の尊さと感謝の気持ちが湧いてくるのではないのでしょうか。ハタ(傍 周囲の人)をラク(楽)にするから『働く』という言葉を引きかけに、家事の分担や責任、働くことの意義などについて家庭でも話し合ってみてください。

先週は(11月10日～14日)南犬飼中学校の生徒が『マイチャレンジ』として1年生の教室で職場体験をしました。また、今月の学校の生活目標は『進んで働く子になりましょう』です。労働というものを身近なものとして考え、まずは家庭、そして学校、地域へと目を向け、働くことに労を惜しまない児童になって欲しいと願っています。



睦み合いの中で育てる教育

本校の建学の精神は、『人は人の中で人になる～睦み合いの中で育てる教育～』です。



2学期は運動会に始まり、様々な活動を行っています。本校では、子ども達が「人や社会と直接かかわる体験や場の設定」を意図的にたくさん作っています。建学の精神にもあるように、子ども達の〈生きる力〉を育てるには、〈確かな学力〉とともに〈人や自然、社会とのかかわり〉が重要であると考えています。〈人や自然、社会とのかかわり〉に重きを置いた教育活動を実施することで、本校では、〈豊かな人間関係〉〈心の安定〉〈ともにいる安心感〉〈人への信頼感〉〈学校・社会のルールやマナーを守ることの大切さ〉が身に付き、子どもが生活上の課題を解決し、これからの社会を生きぬく力が育つと考えています。このような考えのもと保護者や地域の皆様のご協力を得な

がら貴重な体験をたくさん実施しました。(裏面に、本校での体験活動について、そのねらいや成果を載せてみました。)学校では、今後もたくさんの体験の場を作り、心豊かでたくましい子ども達を育てていきたいと思っています。ご家庭や地域社会でも、子ども達が人や社会とかかわれる機会をたくさん作っていただきたいと思っています。

校外学習や社会見学は子どもたちの目を輝かしています!

わんぱく児童集会



本校では、1～6年生までの縦割り班（なかよし班）での活動として6月には『わんぱく集会』、年に2～3回実施する『なかよし給食』、3月には『6年生を送る会』などの活動が設定されています。また、共遊の時間に縦割り清掃班での遊びも実施しています。

6月に実施した『わんぱく児童集会』は、栃木県の施設である『わんぱく公園』に近いということで、縦割り班ごとに、徒歩で約2キロの距離を歩きました。この集会は、4月に入学した1年生を、心を込めて歓迎することや、6月15日の県民の日のお祝いも兼ねて実施しています。この集会は、本校における児童会活動の大きな特徴で、集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度の育成を図る活動となっています。



わくわく探検



本校では、1～2年生は生活科で3～6年生は総合的な学習の時間で『わくわく探検』を実施しています。生活科の学習『のりものについて』では、公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどを学習し、それらを大切に使用し、安全に気を付けて正しく利用することができるようにすることをねらいとして

います。また、総合的な学習の時間『睡の魅方 再発見! 睡のために私たちができることは! ～他の市町から学ぼう～』では、変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとして実施しています。全学年でおもちゃのまち駅から出発して、栃木県内の各地域へ探検に行く『わくわく探検』は、本校独自の子どもたちの生きる力を育む活動となっています。



社会見学



本校では、1～4年生は学校行事や教科で社会見学を実施しています。5・6年生については教科で地域の様々な教育資源を活かしながら、史跡巡りなどの校外学習や出前授業などの体験活動等の充実を図っています。

校外学習や社会見学の意義は、子どもが教室を出て、生きた社会生活の実際に直接触れられることです。現地で、五感を活用して教室では学べない体験を通して、子どもの知識や生活経験、視野を広めることにつながります。また、子どもの自主的な学習を高めるための大きな刺激となることです。図書館やインターネットでの調べ学習の興味・関心が高まり、自主的な活動に取り組むことにつながります。さらに、集団で行うことから、『仲間と協力する態度』の育成につながります。



今後もさらに内容が充実するよう、改善を加えながら様々な体験活動等を展開していきます。